



お知らせ

| | |
|--------|-------------|
| 記者発表資料 | 平成26年11月12日 |
| 配 布 日 | |

■ 同時発表先：岡山県政記者クラブ
岡山市政記者クラブ
倉敷市記者クラブ

「守れ！ハクセンシオマネキ！」

小学生と一緒に希少種の保護活動を実施します。

この度、倉敷市連島地区の高梁川において行う樋門工事によって影響を受ける希少種のカニ（ハクセンシオマネキ）の保護のため、倉敷市立連島南小学校の児童（3年生）100名に参加いただき保護移植を行います。

日 時：平成26年11月14日（金） 9：20～10：40

平成26年11月18日（火） 13：40～15：00

場 所：岡山県倉敷市水島川崎通1丁目（汐入川遊水池前）

（詳細は別添参照）

国土交通省岡山河川事務所では、岡山三川（吉井川、旭川、高梁川）の安全・安心を高めるため、河川工事や維持管理に取り組んでいます。河川工事にあたっては、河川に生息する生物の保護などにも配慮した取り組みを行っているところです。

また、倉敷市では、本年3月に倉敷市生物多様性地域戦略を策定しました。

本地域戦略では、「恵み豊かな瀬戸内の自然を未来に向けてみんなの手で引継いでいるまち倉敷」を倉敷市の目指す将来像として、希少野生生物の保護・保全や子どもたちへの環境教育の充実などを市民の皆さんや関係機関とともに進めていくこととしています。

＜問い合わせ先＞

○国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所 086-223-5101（代表）

【担当】副所長（技術） 庄司 俊介（しょうじ しゅんすけ）
工務課長 大塚 尚志（おおつか たかし）

岡山河川事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>

○倉敷市 環境リサイクル局 環境政策課 086-426-3391

【担当】自然保護係 三宅 康裕（みやけ やすひろ）
脇本 優子（わきもと ゆうこ）



別紙

ハクセンシオマネキ保護移植 実施要領

1. 目的

連島排水樋門工事の改変予定区域周辺に貴重種であるハクセンシオマネキ（環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類、岡山県レッドデータブック準絶滅危惧）の生息が確認されたため、工事で改変が行われる区域内の個体の保護を目的とした移植を行うものです。

倉敷市立連島南小学校3年生のみなさんに参加いただき、希少生物の保護移植を通じて自然環境や生物多様性についても学習いただきます。

生物の保護や生物多様性については、倉敷市環境政策課とNPO法人倉敷水辺の環境を考える会から紹介をいただく予定です。

また、高梁川の河川工事を行っている施工業者各社にも参加いただき、日頃工事を行っている高梁川に生息する希少生物について理解を深め、工事実施に当たって留意すべき自然環境の大切さに理解を深める機会としています。

2. 場所

岡山県倉敷市水島川崎通り1丁目（汐入川遊水池前）

4. 日時

平成26年11月14日（金） 9:20～10:40

平成26年11月18日（火） 13:40～15:00

小雨決行の予定ですが、天候により中止する場合があります。

5. 参加者

国土交通省岡山河川事務所

倉敷市環境政策課自然保護係

NPO法人倉敷水辺の環境を考える会（アドバイザー）

倉敷市立連島南小学校3年生（約50名ずつ2日に分かれて参加）

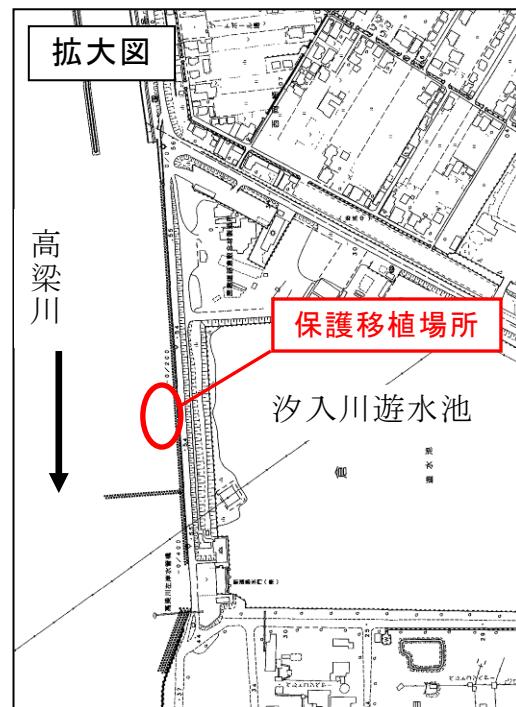
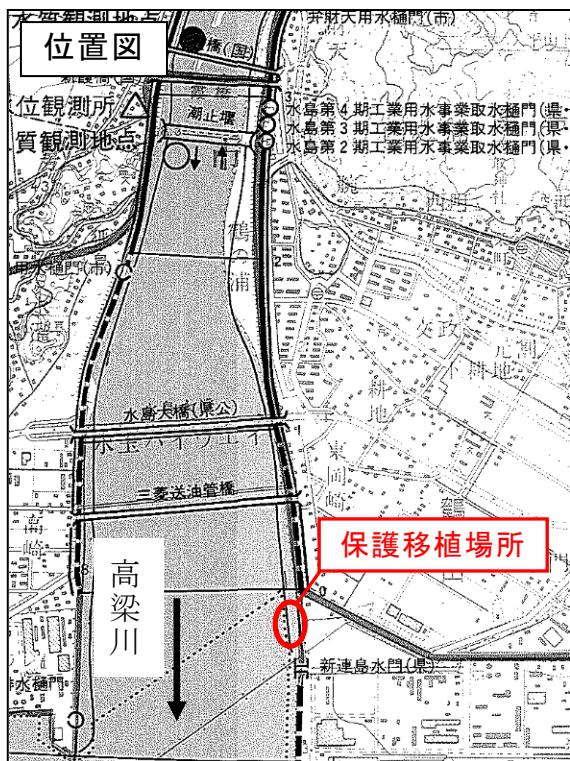
高梁川安全協議会（岡山河川事務所が発注している工事の受注者）

6. スケジュール

11月14日（括弧内は11月18日の実施時間）

9:20～10:00 工事影響範囲のハクセンシオマネキ捕獲
(13:40～14:20)

10:00～10:40 ハクセンシオマネキの放流
(14:20～15:00)



【参考】昨年のハクセンシオマネキの保護移植



ハクセンシオマネキの外観的特徴と生態

ハクセンシオマネキの外観的特徴と生態は、以下に示すとおりである。

＜外観的特徴＞

- ・甲は横長の長方形で、甲幅は最大でも 20mm 前後
- ・オスは片方のハサミが大きく、メスは両方のハサミとも小さい
- ・オスの大きな方のハサミは白く、表面にツブツブがない
- ・オスはこの大きなハサミを振り上げて、振り下ろすウェービング（求愛活動）を行う



＜生態＞

- ・我が国における分布域は、伊勢湾以南の本州、四国、九州
- ・砂泥干潟の満潮線付近で波が直接当たらず、硬めの砂泥底もしくは転石環境に生息
- ・巣穴を掘り、その周辺を生活場所にしている
- ・巣穴は深さ 10～20cm 程度で、入口付近は垂直であるが、数 cm 下の所から斜め横に曲がっている
- ・活動期は気温が高くなる 3 月中旬頃～11 月上旬頃（活発な時期は 5 月～10 月）で、繁殖期は 6 月下旬頃～8 月下旬頃までである
- ・昼間の潮が引いた時に活動し、潮が満ちている時、雨の日、気温が低い日には巣穴に潜り、入口を閉ざしていることが多い
- ・餌は砂泥中の有機物や小さな藻類（珪藻類）